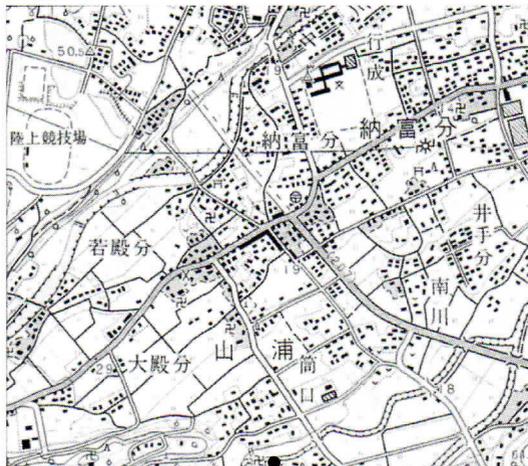


4. 源昌寺享保飢饉供養塔

所在地: 佐賀県鹿島市山浦 源昌寺境内
藩政区画: 佐賀本藩領能古見郷山浦村

- [1] 本体法量(cm) 高: 117 幅: 36 厚: 31
上段法量(cm) 高: 30 幅: 53 厚: 50
下段法量(cm) 高: 20 幅: 77 厚: 74
- [2] 造立年月日
享保十八(1733)年晩冬腰日
- [3] 形状
平頭角柱
- [4] 造立者(括弧内は勸進僧)
深江氏
(源昌寺十二世諦蓮社誠譽)
- [5] 信仰等
浄土宗光明山源昌寺
- [6] 共存の石碑等
六地藏、個人墓2基、馬頭観音像1基、地藏1基
- [7] 備考
享保十八年は享保飢饉の一周忌にあたる
深江氏は、鎌倉時代より約300年間深江
(現長崎県南島原市深江町)の地頭職を
務めた
天正十二(1584)年、主家の龍造寺氏が
島津・有馬氏との戦いに敗れた際当地に
至る
藩成立後、深江氏は家老などの要職を務
めた
当寺は同氏の菩提寺である
- [8] 文献
藤野 1985
鹿島市教育委員会 1985『鹿島市文化
財ガイドブックとふるさとの歳時』

位置(1:25000)



遠景



近景



正面

